

農業経営統計調査の重点化についての論点整理に対する考え方

【委員の問題意識・論点】

- 調査票の配り分けの線引きに「主・準・副」の区分を用いた結果として、「65歳未満にロングフォーム、65歳以上にショートフォーム」という結果になっているが、そもそも、年齢による線引きが適当なのか。
- 仮に、年齢による線引き基準を残す場合、なぜ65歳でないといけないのか。65歳を境として、不連続な実態がないということであれば、65歳は、経営規模の違いに関する代理指標でもなく、営農継続の可能性の代理指標でもなく、それ以外の年齢でもよいのではないか。
- 本調査の目的・必要性を踏まえると、調査票の配り分けに当たり、年齢による線引きは用いず、独自の線引きもあり得るのではないか。具体的には、「青色申告にロングフォーム、白色申告にショートフォーム」という選択肢もあるのではないか。
- 自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない経営体を、一律に「副業的」とする定義・区分は適切なのか。

【農林水産省としての考え方】

- 年齢により線引きすることが適当と考えているわけではなく、ゼロベースで見直す必要。
- 前回の部会審議の過程で「青色申告」を線引き区分の基準として検討することも考えられるのではないかとのご提案があったことを踏まえ検討。
- 修正案については別紙のとおり整理したところ。